

## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール（令和3年度：グループホームとりい）

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護理念は職員が毎日目の届きやすいホールや勤務表に掲示しており、理念に基づいたサービスを提供するにあたり、日々利用者の思いを大切にしながら余暇活動の見直しや生活のあり方を職員間で話し合い取り組んでいる。今年度はコロナ禍で職員と一緒に会話しながらの楽しい食事に繋がる支援や外出行事は控えざるを得ない状況となり、地域との繋がりの支援ができなかった。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で外部との交流が難しくなり、地域住民との交流はできなかった。	・コロナ禍以前の交流とはどのような活動をされていたのか？ →地域のイベントへの参加や、こども園との交流、地区の方を招いての収穫祭（食事会）などを行っていた。また、地区会長さんからお声がけいただき、神楽巡業へも参加させていただいた。その他、認知症介護の普及啓発のため、「認知症サポーター養成講座」を地域や小学校に出向き行っていた。 ・引き続き感染症対策を徹底しながら、少しずつの再開をご検討いただきたい。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	令和2年度の運営推進会議はコロナ禍で開催が少なく、書面で業務報告や確認を行った。運営に対する意見等の集約が難しく、会議を生かした取り組みは不十分であった。	・今後の取り組みを期待したい。		

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	母体施設の入所検討会(月1回)や地域包括支援センターを通じて、村担当課(者)と連絡をとっている。今年度からは地域ケア会議への出席を予定しているが、都合により出席できておらず、今後は調整し極力出席していきたい。	・地域ケア会議へは、毎回でなくても是非出席いただきたい。出席した法人の職員さんから様々な情報をいただき、出席者皆で情報を共有できればありがたい。 ・地域ケア会議とはどのような会議か？ →住民福祉課主催で行われる月1回の会議で、村内の医療・福祉の関係者が介し、個人のケースや情報交換、サービスの在り方などを検討するもの。	
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	3ヶ月に1回会議を通して身体拘束の実態を確認している。また、定期的に研修に参加することで注意に繋がりが、身体拘束は行われていない。		・時には必要な事態もあるかと思いますが、拘束を行わないプロのケアに頭が下がります。 ・トラブル、クレームが発生していないようですので、結果として十分にできていると思います。 ・拘束等の実施は無く、健康に生活できている。 ・定期的な研修が行われている。 ・引きつづき、研修等を通じて正しい理解の下、対応をお願いします。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	権利擁護(虐待防止・身体拘束廃止等)に係る内部研修を定期的実施しており、職員全体で防止に努めている。		・同上。 ・上記と同じ意見です。 ・虐待等の実態は無く、大切にされている。 ・定期的な研修が行われている。 ・同上。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、成年後見制度を利用している利用者がいないため、現実的に必要性を感じるまでには至っていないが、権利擁護に係る研修から制度を学ぶ機会をもっている。		

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用契約締結時や料金改定の際は、都度詳細にわたる懇切丁寧な説明を行い、同意を得ている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者に関しては、日々の暮らしの中の会話や表情などから不安や不満につながる事があれば聞き取りし、解消に努めている。家族については電話連絡時に要望など聞き取り確認している。他、自己評価に係るアンケート調査を実施し、意見として出されたものを運営推進会議等で公表、検討している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の家族の方に聞いた事がありますが、利用者に関することはまめに報告してくれると聞いていますので、十分にできていると思います。</li> <li>・家族の要望を受け入れてもらっている。</li> <li>・運営に反映されているかは分からない。</li> <li>・普段の会話やアンケート等で利用者、家族等の意見を聞き取る取組みができていると感じます。意見への対応の公表を検討されているとのことですので、よろしく願います。</li> </ul>
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	定例(月1回)の部署会議や代表者会議を通じて職員の運営に関する意見・提案を聞く場を設けている。また、年度末に実施している職員個別面談の際にも様々な意見・要望等を聞く機会を設けており、可能な限り運営に反映させている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	介護職員を中心とした処遇改善、臨時職員から正職員への登用の推進、各種手当(資格手当・業務手当など)の改善を行うなど、働く意欲を持てるような環境条件の整備に努めている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部のことはよく分かりません。</li> <li>・自己評価でほぼできているとありますが、十分にできている為には、何が不足なのでしょうか？</li> <li>・処遇改善等、詳しいことは分からない。</li> <li>・国の動向等を踏まえ、引きつづきの対応をお願いします。スキルアップのための研修等にも取組んでいただき、職場環境の整備に努めてください。</li> </ul>

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修計画に基づいて定期的な内部研修(事例検討会等)や外部での研修へ参加している。また、資格取得支援事業等を整備することで職員のキャリアアップの支援等を行い、資質向上に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・同上 ・常に研修を重ねているように思いますので、充分にできていると思います。 ・各種研修を行うことにより個々人のレベルアップが図られると思う。 ・引きつづき研修等による育成に取り組んでください。また、管理者等のマネジメント能力の向上も検討ください。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	県グループホーム協会や県北ブロック協会開催の定例会(研修会)、人事交流等は、コロナ禍により開催にはいたらなかった。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者ができる事を考え、可能な限り役割(家事等)を持って生活できる支援に努めている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍により、交流行事が実施できなかった。オンライン面会や窓越し面会を支援し、家族との関わりは持っている。	・入所後も家族や以前暮らしていた地域とのつながりを感じられるような取り組みを期待する。		

## II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	担当の職員がアセスメントを行い、本人や家族からの希望や意向を聞き取りし、カンファレンスにて情報を共有している。本人からの確認が難しい場合は、家族からの情報収集に努め利用者本位に努めている。しかし、アセスメントが不十分であったり、業務の都合で利用者の意思に添えない時もあった。			
----	----------	--	--	---	--	--	--

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月モニタリングを行い、ケアカンファレンス時に本人がよりよく暮らせるようケアプランについて再検討している。ケアプランについては計画作成担当者に任せきりにするのではなく、全職員が共同で行うよう心掛けている。ひもときシートを活用することで、職員のケアプランに対する意識に変化がみられている。	・内部でのみの検討ではなく、他職種が出席する地域ケア会議の場を活用するなど、多角的な視点による介護計画作成といった取り組みも一つの方法だと思うので、よろしければご検討を。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・他職種関係の皆さんの意見や情報は必要だと思います。又、他ホーム関係の違い、差があるのであれば参考にするのも良いと思います。 ・モニタリングにより意見等集約され活用されている。 ・ケアカンファレンスに家族が参加する事で、家族の意見やアイデアが反映できるのではないかと。 ・チームケアの意識づくりに取り組まれていると感じます。必要に応じて地域ケア会議へケース検討事案を提出され、多角点な検討をされてみてはいかがでしょうか？
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	第三者が読んでも理解できるようなケース記録に努めている。また、今後のケアに繋げられるよう表情などの細かな情報も具体的に入力するよう努めている。年1回以上は記録に関する勉強会(他事業所合同)も実施している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者さんの情報や様子を細かくケース記録に残されているのは、ケアされる側としてはすごく安心できると思います。 ・本人の行動が日々単調なものになってきていると思われませんが、個別の記録を家族も共有したい。 ・実際の個別記録を家族が見ることがないので分かりません。 ・職員間の引継ぎだけでなく、本人、家族から開示を求められることのあるものだと思いますので、引きつづき分かりやすい記録の作成を心がけ、職員全体のスキルアップへ取り組んでください。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	サービスの多機能化とまでは至っていないが、看取り対応や状態低下の方の対応の際に併設事業所から協力を得るなど、他事業所との連携ができています。	・法人内の他の事業所(母体の特養ホーム等)との連携が図られていると思うので、特に意見はない。		

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ④ ほとんどできていない	立地的に地域資源が乏しい状況にあるが、地域商店の巡回販売や理美容に来荘いただくなどし、可能な限り本人の意向を反映できる機会を設けている。	・限られた職員数の中で対応することは大変だと思うので、地域資源の活用を少しずつ検討していただければと思う。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	① 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	協力医療機関への受診については事業所に対応している。その他、遠方のかかりつけ医への受診は原則家族対応をお願いしているが、都合により事業所でも対応しており、受診結果については適宜家族へ報告するなど、情報を共有している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院した際には情報交換を密に行うよう心がけている。また、入院中の居室についても、実費負担ではあるが、そのままの状態ですべて迎えられる体制をとっている。		A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・親が入所中に入院した際にも、病院、広域連合とも連絡をとり、十分な対応をしていただいた。 ・長期入院時に最高日数の限度がありますか？家族としてお部屋があるか不安だと思います。知っておきたいと思うので、その辺りはどうなっているのでしょうか？ ・入院時の医療機関との対応はできていると思う。 ・引きつづきの取組みをお願いします。また、現在、広域市町村で調整中の退院時看護情報提供書が完成した際は、利用を検討ください。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	① 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用開始(契約)時に重度化や看取りに関する意向確認を行っている。状態低下の見られる利用者については、嘱託医より家族に対し説明していただくなど、他のサービス利用を含めて今後の方向性についての話し合いを持つようにしている。		① 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・家族の方に細めに連絡、確認をされていると聞いていますので、十分にできていると思います。 ・入所時に説明を受け、納得している。 ・引きつづき、医師(嘱託医)等と連携し、取り組んでください。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時や事故発生時の対応等に関するマニュアルは、職員のしやすい場所へ掲示し、また、発生時に備え内部研修等で定期的に再確認している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各種災害を想定した防災マニュアルを作成するとともに、母体施設との合同避難訓練(年2回)を実施している。事業所内での火災発生時の避難誘導についてもマニュアルを整備し、定期的に訓練(部分)を実施している。また、災害時の備蓄についても見直し、定期的に補充、点検を行っている。地域との協力体制については事業所からの働きかけは消極的となりがちで、不十分である。	・地域との協力体制については、村の防災担当課や普代分署等と連携して対策をとれるよう支援したいと考えている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・災害時の時は、防災担当課、普代分署はともかくとして、鳥居地区の皆さんでお手伝いできる方にも応援要請できたらと思います。 ・防災マニュアル、誘導マニュアルの共有で、災害時の対応に生かしてほしい。 ・引きつづき避難訓練等を通じて災害対策に取り組んでください。また、必要に応じて消防部署のアドバイスや地域の協力を得ながら取り組んでください。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束廃止や虐待防止・認知症ケアについての内部研修を行い、人格の尊重や接遇(丁寧な言葉使い)について触れ、プライバシーに配慮した言葉遣いを心がけているが、忙しい時などに不適切な言葉が出てしまうこともあった。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・内部の事情については何ともいえませんが、職員の皆様は大変な努力をされていると思います。A評価となるよう頑張っていたきたいと思います。 ・年寄りのわがまと思われる態度に対して、根気強く対応してくれて感謝しています。 ・職員同士で不適切対応を注意し合う等、普段から意識しながら業務を行ってください。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来る限り本人の生活リズムを尊重した対応を心がけている。入浴に関しては業務の都合等で職員の都合を優先している時もある。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事の準備や片付けは特定の利用者になりがちではあるが、できる範囲で協力していただいている。食事中の会話はコロナ禍の中、控えている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・特になし。 ・家事に参加することのなかった大黒柱は、皆様のおかげで生きています。食が細くなりご迷惑をかけています。 ・新型コロナ等、感染症対策をしながらの食事は大変だと思います。引きつづき対策しながらの取組みをお願いします。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	疾病のある方には摂取量や栄養バランスに配慮し健康維持を図っている。また、一人一人の食事・水分量の確認を行い、低下時は代替品の活用や水分量確保に努め、必要に応じて医師に相談するなど栄養補助食品等も活用している。個々の摂取状況に合わせた食事形態も工夫している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歯磨きについては朝・昼・夕3回実施している。協力医療機関である歯科診療所より歯科衛生士が口腔指導に訪れ、本人の状態に応じたブラシや用具の使用など口腔ケア指導を受け、必要に応じて歯科受診対応している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入れ歯の方の口腔ケアはどのようにしていますか？また、外した時の管理などはどのようにしておりますか？ ・自宅にいたころは歯磨きはせず、実施をありがたいと思っています。 ・日々の口腔ケアは実施できているようだが、口腔指導後に家族への報告があった方が良いと思う。 ・口腔ケアと認知症は関係のある部分なので、協力医療機関と連携しながら、引きつづきの取組みをお願いします。



No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	失禁のある方でもできるだけトイレでの排泄が自立継続できるようパットの種類を工夫し、また、トイレでの排泄が可能な方については排泄パターンを把握しトイレ誘導を行い、トイレでの排泄が維持できるよう支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの排泄のお手伝いは大変かと思いますが、充分に対応されていると思います。</li> <li>失禁状態等、個別対応記録(18番関連)があれば家族で情報の共有ができる。</li> <li>自力での排泄が継続できるよう、引きつづきの取組みをお願いします。</li> </ul>
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	曜日や時間帯が決められており、一人ひとりの希望やタイミングに完全に合せているとは言えない状況にあるが、本人の希望を聞き取りし時間の変更や温度調整等適宜行っている。また、入浴剤使用や音楽を流したり、会話をする等、工夫しながら楽しい入浴となるよう努めている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	室内の温度や衣類・寝具の調整を行い、心地よく休めるよう支援している。夜間、眠れない様子の時には話に耳を傾け、安心して休むことができるよう対応している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各担当職員はアセスメント時に薬の種類、作用等を一覧表に書き出すことで、服薬の把握につなげている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>服薬については、大事なことであると思うので、「十分にできている」との評価となるようにして欲しい。</li> <li>一人ひとりのお薬の管理や作用等について職員さんが十分に把握され対応できていると思います。(※飲み忘れが発生しないと思っているからです。)</li> <li>個別の薬服用時間、種類があるなか、苦勞させています。</li> <li>引きつづきの取組みをお願いします。必要に応じて医師、薬剤師との連携も検討をお願いします。</li> </ul>

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人のできるお手伝いを役割の一つとして捉え、やりがいを持てるよう支援している。他、歌が好きな方、静かな環境を好む方など、個々の好みに合わせ、音楽・新聞・広報誌、本・パズルなどを提供し、楽しみや生きがいに繋がるよう支援している。	・安全管理上大変かと思うが、利用者さんが入所前にやっていた趣味や特技に触れる機会があれば良いと思う。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度も多くの外出行事を計画したが、コロナ禍で実施できなかった。外出を控えた中でも施設内での活動を工夫し、気分転換ができるよう支援した。	・感染症対策を徹底したうえで、少しずつ取り組んでいただきたい。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	金銭の自己管理の希望ある方には普段から現金を所持して頂いている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話の希望は殆ど聞かれないため行っていないが、オンライン面会にてビデオ通話は行っている。手紙を書ける方は少ないが、希望時にはポストに投函するまで支援している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関や食堂のテーブルにも季節の花を飾るなど癒しになるよう工夫し、また、季節を感じられる掲示物を作成・掲示している。廊下やホールには椅子を多く配置することでいつでも休む事ができるよう配慮し、ホールでは天窓から柔らかい光が差し込み、天候に応じ照明等で明かりを調整するなど、自然な雰囲気演出できている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・食堂内については、気持ちが休まるような音楽やビデオを観たり、テレビを観たり楽しめる時間はありますか？ ・年齢的なものもあり、自室にいる時間が多い。新型コロナ、オミクロン株で他間との交流の場が少ないのが残念。 ・利用者の意向等に配慮しながら、清潔で居心地の良い共有空間づくりに引きつづき取組んでください。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)</b>							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の思いを感じ取れるよう、日々寄り添い会話をし、一人ひとり自分のペースで生活できるよう支援している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時のアセスメントや会話の中から、これまでの生活の様子や習慣などを確認し、本人の思いにより一層近づけるよう努めている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	通院に関しては家族が対応できない場合は通院支援を行っている。また、毎月の医師の往診や、体調不良時には看護師からの指示を受けながら、適切な対応ができています。		Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療面、日々の生活の面充分な対応をしていただいていると思っている。</li> <li>・通院、入院時に関しても支払いや色々対応されていると聞いておりますので、十分にできていると思います。家族側としてははすごく安心されていると思います。</li> <li>・健康面、医療面、安全面、環境面等、満足のいく対応を受けている。</li> <li>・引きつづき医療機関等と連携の下、取り組んでください。</li> </ul>
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事や入浴については、拒否等みられた際は無理強いせず、時間をずらすなどして対応しており、個々のペースでゆったりと過ごすことがおおむねできています。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅で使い慣れていた家具やお気に入りの洋服など持参していただくよう働きかけているが、持ち込みは少ない。家族の写真を飾るなど、本人が安心して暮らすことができる心地よい空間となるよう配慮している。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分に配慮されていると思います。</li> <li>・必要なものは新型コロナ、オミクロン株に感染しないよう差し入れている。</li> <li>・愛着のあるものが近くにあると安心できると思います。引きつづきの取り組みをお願いします。</li> </ul>
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない Ⓓ ほとんどできていない	コロナ禍で、外出の支援は難しい状況にあり、実施できていない。	・感染症対策を徹底したうえで、少しずつ取り組んでいただきたい。		

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々に歌を歌う、毎日新聞を読む、家事手伝い、毎日体操をする等、日々の日課がある方もおり、自分の好きな事、やり続けたい事を継続できている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者間や職員と日々談笑している。余暇活動では楽しそうに笑顔で参加しており、また、家事手伝いでは、いきいきとした様子がみられる方もいる。		A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・職員さんが常に笑顔で利用者さんへ声がけをされている場面を見ましたので充分かと思います。 ・本人の意志により、無理なく生活できている。 ・入所前の生活状況や趣味等を踏まえた取り組みの継続をお願いします。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない Ⓓ ほとんどできていない	コロナ禍で、実施できていない。	・感染症対策を徹底したうえで、少しずつ取り組んでいただきたい。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で、地域の人々との交流は実施できていないが、職員とは良好な関係性が築かれ、安心の日々を過ごすことができていると思う。	・コロナ禍以前の活動が再開できることを祈念します。	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・事故なく生活できている事がなによりです。職員の皆さんの優しい対応により、安心してお願いすることができます。 ・とにかく職員の皆さんが利用者の方に対して愛情をもって笑顔で接していることが安心の日々を過ごせると感じられます。 ・新型コロナ。オミクロン株が落ち着き、面会、交流の再開を願います。 ・全般的に取り組んでいると感じます。新型コロナ対策を徹底しながら、引きつづき取り組みの充実をお願いします。